平成26年度発達障害に関する教員の専門性向上事業

安芸太田町立戸河内中学校の取組

安芸太田町立戸河内中学校

《学校概要》

H27.1.21現在

- 在籍生徒数→56名（通常の学級3）
- 平成25年度から特別支援教育の考え方を取り入れ，巡回相談の結果を個別の指導計画および日々の指導に反映。
- 学校が支援を要すると判断した通常の学級の生徒数→5名 （個別の指導計画を作成済）

《校内体制》

H27.1.21現在

- 特別支援教育コーディネーター　1名
- 特別支援委員会の開催→全体での確認
- 巡回相談の実施（授業観察・担任との懇談）
- 校内研修会の実施

（理論研修・講師招聘・授業研究）

1　学校全体での取組

①学習規律の統一

②掲示物の配置の工夫

③目標（授業のゴール）の明示

④授業における指示の確認

2　授業実践報告（1）～概要～

①授業について

◇社会科　第2学年（19名）

◇単元　「身近な地域」

◇目標　縮尺の計算ができるようになる。

②学級について

学習意欲が高く，協力的に学ぶこともできるが，資料活用の能力や知識・理解の面で課題がある。

③個について

◇生徒A・・・考えをまとめたり，書いたりすることに時間がかかる。

◇生徒B・・・一斉の説明を聞いても理解できないことがある。

2　授業実践報告（2）～全体への支援

①　視覚化～ﾋﾞｼﾞｭｱﾙﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄの活用～

◇「何をすればよいか？」を示す

◇「色」の約束

スクリーンを中心に進める授業

左上にあるアイコンに注目

書く→ （黄色い文字）

見る→

貼る→

※次に授業で示したシートをご覧ください。

1　地形図で距離をもとめる

ではさっそく！

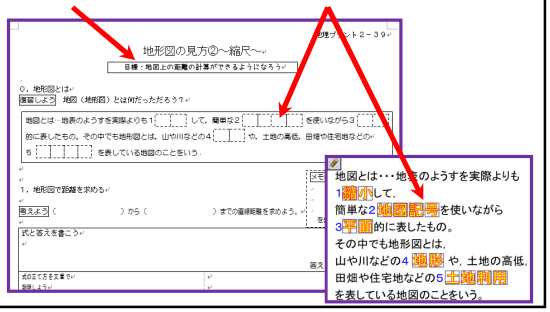
考えよう

戸河内郵便局から
上殿郵便局までの
直線距離を求めよう

2　授業実践報告（2）～全体への支援

② ワークシートの工夫

◇「目標」の明示　　◇ スライドとのリンク



地図とは・・・地表のようすを実際よりも
1縮小して，
簡単な2地図記号を使いながら
3平面的に表したもの。
その中でも地形図とは，
山や川などの4地形 や，土地の高低，
田畑や住宅地などの5土地利用
を表している地図のことをいう。

2　授業実践報告（2）～個への支援

① ヒントカードの活用

◇ 穴埋め式

◇ ワークシートに貼れる

戸河内郵便局から上殿郵便局の地図上の距離は，（1　　）cmでした。この地図は（2　　）分の１の地図なので，実際の距離は，（1　　）cmを（3　　）倍すればよいということです。それを計算すると，（4　　）cmになります。cmをkmに直すときは0を（5　　）個消すことになります。したがって，答えは（6　　）kmになります。

3　成果と課題

①成果

○ 全員が目標を達成した。

○ 理解が難しい生徒への
　　ヒントカードが有効だった。

②課題

○ 指示したまま，生徒が置き去りになっている場面があった。→指示が通っているかどうかを確認！

○ スライド内容が消える。→黒板をどう活用するか？

4　おわりに（次年度に向けて）

○研修者から職場全体へ

○理論から実践へ

○ICT活用の推進